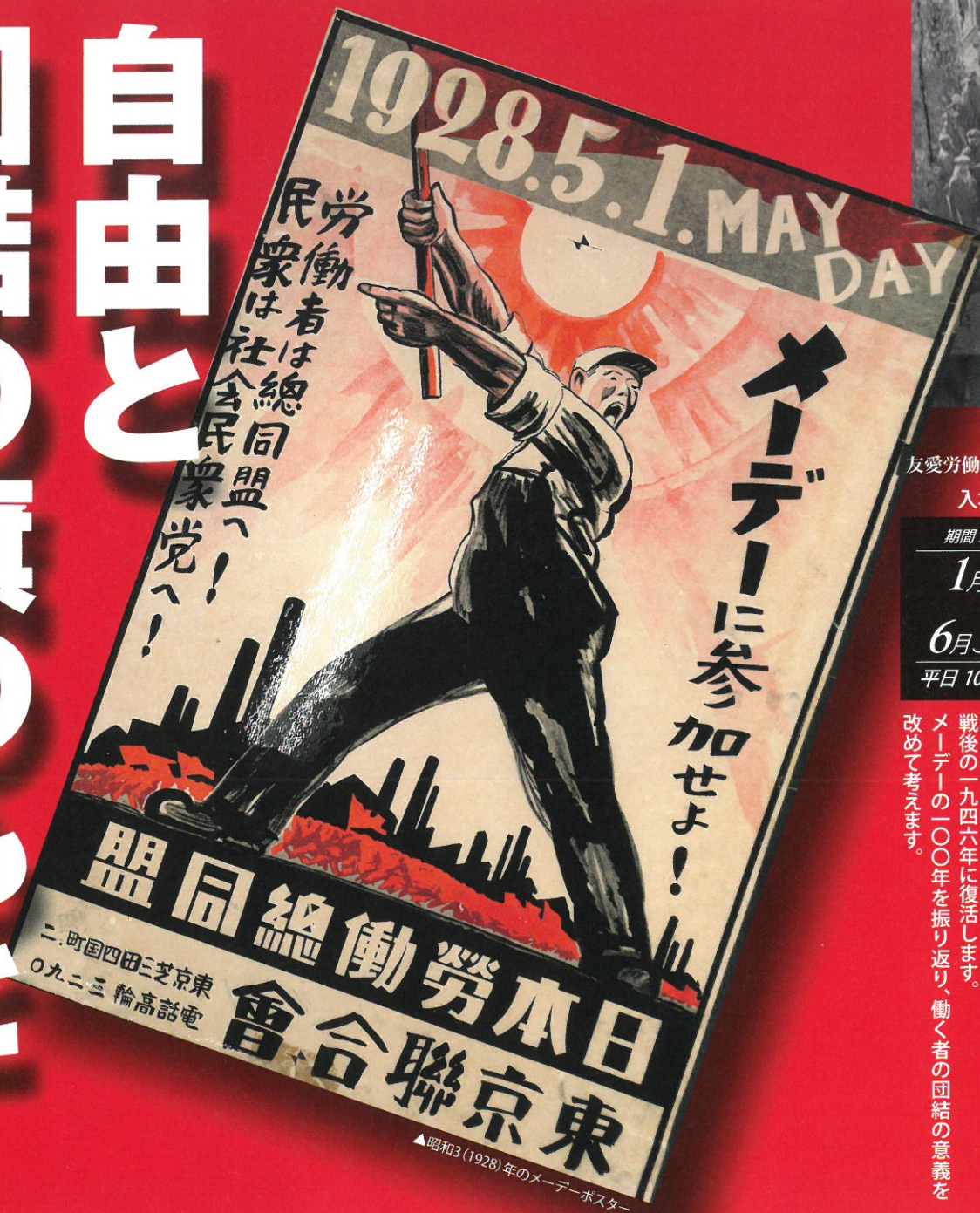


自由と 団結の旗のもと



▲大正12(1923)年頃のメーデー

日本のメーデー100年

友愛労働歴史館企画展
入場無料

期間 2020年

1月6日(月)

6月30日(火)

平日 10:00~17:00

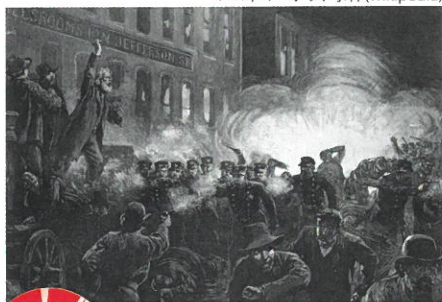
日本で最初のメーデーが挙行されたのは一九二〇(大正九年)五月二日。年々各地で規模を拡大してきましたが、一九三六(昭和十一年)の二・二六事件を契機にメーデー集会は禁止されました。メーデーの歴史はそこで一度絶え、戦後の一九四六年に復活します。メーデーの100年を振り返り、働く者の団結の意義を改めて考えます。

日本労働総同盟
東京連合会

東京芝田三田四国二町
電話高輪三〇九

▲昭和3(1928)年のメーデーポスター

▼ハイマーケット事件(wikipedia)



メーデー前史 (なぜMAY DAY?)

1886年5月1日~1920年5月1日

1886(明治19)年5月1日、アメリカの労働者が「8時間労働」を要求してゼネストを行ったのが、今につながる「メーデー」のはじまりとされています。ほどなくメーデーは全米に波及し、さらに「国際メーデー」に発展していきます。労働者が国際的に連帯をすすめていった様子をご紹介します。

▼大正14(1925)年のメーデー



戦前のメーデー 非合法下で団結

1920年5月2日~1936年5月1日

1920(大正9)年5月2日に友愛会を中心として上野公園で開催された初めてのメーデー集会。鈴木文治、松岡駒吉、賀川豊彦、西尾末広らが関わった戦前のメーデーがどんな主張を掲げ、どのように発展していったのか…その終焉はどのように訪れたのかをひもときます。

▼2012年のメーデー



戦後のメーデー、 その変遷をたどる

1946年5月1日~

1946(昭和21)年にメーデーは復活。占領解除後に騒乱状態となった「血のメーデー事件」など、世相や内外の環境変化にともない、メーデーも変化しました。戦後に復活したメーデーから「メーデーの近代化」、そして現在のメーデーまでの変遷をたどる中で、働く者の団結が何を勝ち得てきたかを考えます。

友愛労働歴史館

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館8階 一般財団法人日本労働会館内
TEL.050-3473-5325 FAX.03-3451-1710
E-mail: yuairodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

友愛労働歴史館
公式Webページ
QRコード



友愛労働歴史館
公式Twitter
QRコード

